

## ■住民・第1分科会【事例報告】

### ◎八女ふるさと塾

○テーマ：「町並み、暮らし、仕事」

○発表者：事務局員 高橋康太郎

団体所在地：〒834-0031 八女市本町 315 中島アトリエ内

代表世話人：中島孝行

☎0943-22-5804 E-mail:naka-atelier-97@wind.ocn.ne.jp

会員数：正会員 44 名

年会費：正会員 5,000 円

設立年月日：平成 6（1994）年 10 月

#### ●【団体発足と主な活動】

八女ふるさと塾は、平成 3 年の台風で大きな被害を受けた八女福島町の将来に危機感を持った有志が集まり、平成 6 年 10 月に発会しました。発会当時、町並みを地域の経済的な活性化の核に考える人、古い町並みや地域の歴史が好きな人、町並みの文化的価値を重視する人など様々な人が集まりました。当初の活動は、町に賑わいを取り戻し八女福島町の町並みを発信するために始めた骨董市の「八女かたびら市」、地域のことを勉強するために有識者を招き「ふるさと勉強会」や「町並みウォッチング」などを行うかわら、町並み保存推進のために重伝建地区に選定されるよう働きかけました。そして、平成 14 年に八女福島伝建地区が国の重伝建地区に選定されました。

現在は、平成 9 年に復活させた天満宮のお祭り「天神さん“子ども”まつり」や地域のことを学ぶ「福島継志塾」、年配の方々に昔の暮らしや町の様子のことを聞き取り調査する「町の暮らし文化調査」など地域に根ざした活動をしています。また、春先に行われる「雛の里・八女ぼんぼりまつり」の実行委員会に参加、9 月の「八女のまつり」では「町屋まつり」を担当、11 月の「八女福島白壁ギャラリー」では「町並み散策ツアー」を企画するなど、町並みで行われているイベントには、出来るだけ参加や協力をしています。



天神さん“子ども”まつり



町の暮らし文化調査

#### ●【八女福島のまちづくり】

八女福島のまちづくりを担う住民組織は、当会のほかに、「八女福島町並み保存会」、「NPO法人八女町並みデザイン研究会」、「NPO法人八女町家再生応援団」、「NPO法人八女文化振興機構」、「八女福島町家保存機構」などがあり、八女市と協力しながら様々な活動を行っています。そして、各団体には、八女ふるさと塾の会員が重複して参加しており、当会はそれぞれの活動の情報交換の場となっています。

また、当会の若手会員が中心となって、3年前から地域の商店主達と始めたイベント「八女福島白壁ギャラリー」、それをきっかけに始まった 13 店舗で作る町の観光案内所「まちあんない」、3 年前にオープンした地元カフェオーナー主催で 3 月に行った「テラコヤミノイチ」など、新しい動きも出始めています。



町家散策ツアー（八女福島白壁ギャラリー）

#### ●【今後の課題】

平成 4 年以降、34 軒の移住者・新規店舗が出来、少しずつ町が活気付いてきて、今も空き町家の問合せが確実に増えています。その一方で、傷みが激しく様々な理由で修理されない町家が多いため、移住希望者を受け入れられない状況です。

また、町並み保存の必要性が地域全体で十分に共有されておらず、住民一人一人がまちづくりに関わるような雰囲気を作っていくことが必要だと考えています。